

WIDEX サウンドクラス テクノロジー

- あらゆる環境下で、ユーザーのニーズに合わせて補聴器を常に最適な状態で利用することが可能です。
- 〈クラシファイアー〉が音環境を分析し、最大9つの異なるクラスに分類します。
- 〈内部コントローラー〉が各サウンドクラスに合わせて補聴器の機能を自動的に調整します。
- 〈優先コントロール〉により、ユーザーのニーズ（言葉の聴き取りまたは快適性）に合わせて調整します。
- すべてのクラスが1つのプログラム〈万能プログラム〉に含まれており、この〈万能プログラム〉1つで自動的に環境に合わせた最適な音を届けてくれます。そのため、ユーザーは自分でプログラムを切替える必要がありません。

最大9つのサウンドクラス

 1. 静寂 音声なし 2. 静寂 音声あり	 7. パーティ 音声なし 8. パーティ 音声あり
 3. 交通機関 音声なし 4. 交通機関 音声あり	 9. ミュージック
 5. 都会 音声なし 6. 都会 音声あり	すべてを一つに 万能プログラム 

特長



あらゆる環境に応じて、常に正確な分析と最適な処理が行われる補聴器。



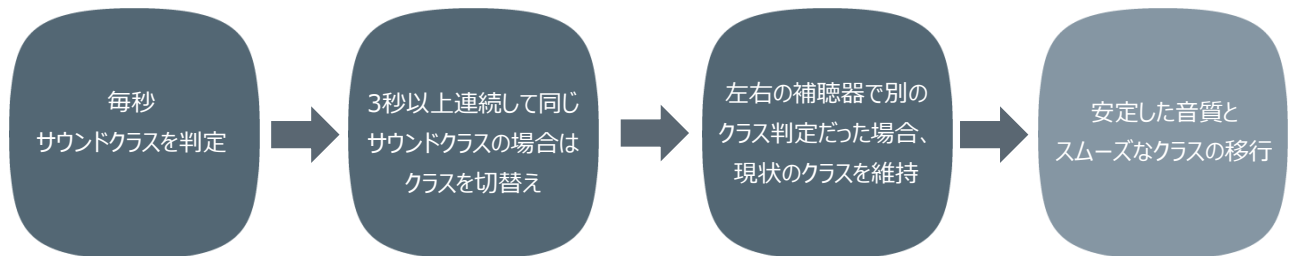
ノイズの多い環境下での快適性をさらに向上。



補聴器が環境に最適な聞こえを常に自動で調整し、スムーズで滑らかな処理を行う。

サウンドクラスのクラシファイアー

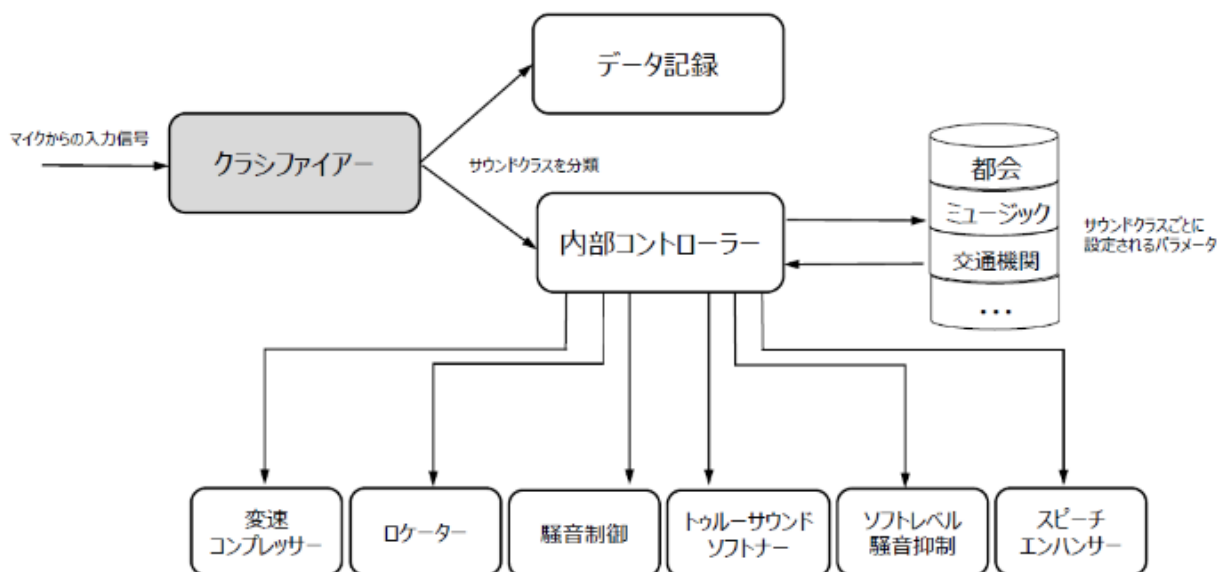
- 音環境を統計的に分析します。
- 両耳装用では、IE（両耳協調処理）により、より精度の高い環境分析とクラス分類を実現しました。
- 9つのサウンドクラス – 補聴器ユーザーの実際の生活環境での音をもとにした膨大なデータベースと照合し、音の環境を最大9つの異なるクラスに分類します。



サウンドクラスの内部コントローラー

- 従来のボリュームコントロールのように音量調節だけを行うのではなく、補聴器の多くの機能を最適化し、さまざまな環境で最高の聞こえを提供します。

言葉の聴き取り、快適性など、その時々によって異なるユーザーのニーズに対応して、補聴器の機能設定を常に最適化。常に滑らかな適応処理を行います。



優先コントロール

- 音声とノイズを同時に増減してしまう従来のボリュームコントロールに代わり、もっとユーザーのニーズに応えることのできる機能です。
- 音の大きさの調節以外にも、言葉の聴き取りと快適性とのバランスを調整する機能を兼ね備えています。
- 優先コントロールは、3ステップと9ステップの2通りでの使用が可能。2つの設定の大きな違いは、最大ボリュームの大きさです。
- 3ステップの優先コントロール：言葉の聞き取りと快適性のバランスを主に調節するセッティングです。上に上げると言葉の聴き取りを、下に下げると快適性を重視したバランスに調整されますが、実際の音量への影響は少なくなっています。
- 9ステップの優先コントロール：通常のボリュームコントロールと似たような作りになっており、言葉の聴き取りと快適性のバランスだけでなく音の大きさにも影響します。